家庭號

第一卷第七號

教育講

進むべき目標 話

が常に相野崎してるるのでありが常に相野崎してるるのであり、ちやうご電氣の陰崎

な 我人の進む選起には光明を な 無も機似めらます。よし千人は な 無も機似めらます。よし千人は な 無も機似めらます。よし千人は な まんの進む選起には光明を 暗然 としました。 りません。

おいなりになっています。 はいなりになりになりになりになりにないない。 を表している。 を表している。 を表している。 ないのでは、ないので 大のハズバンドのここを第三者 ・ 更にこの婦人建から双耳こ か、更にこの婦人建から双耳こ か、更にこの婦人建から双耳こ るを訴へ、他の一人は赤夫の嫉かこち、また一人は夫の吝嗇な

ロがに注意で、 というはなりません。それには設定して はなりました。 とれには 理解を入れたなりません。それには 理解を入れたなりません。とれたなりました。 要して はいけんで 吸り はいけんで 吸り はいけんで 吸り はいけん で 吸り

らべせーの口に丁度よろしいのあてと見て除っ然くない程度なあてと見て除っ然くない程度ない。ガラス機で形視の眼瞼、顔に

家婦饒舌の悪結果 無意識に諜々する

2000 爱兒

◎質問の扱ひ方 しつ

上がりさうで上がらないのが

牛乳の飲ませ方

來はせん。それで一度の哺乳に 生懸命に吸はなければ乳は出て

ス大人は四才の娘を伴なつてへ此間アルバラドの市デ・バレデ

がであります。 を示しばいて出来るだけ求知心をそ を流して出来るだけ求知心をそ を流して出来るだけ求知心をそ

おここが代々あることでござい 、 野りに買取ごられしなるべいますし、延いては大の名乗にも ありませぬから解るがはますし、延いては大の名乗にも ありませぬから解るがはますし、延いては大の名乗にも ありませぬから解るがはますし、

鬼」角饒舌、特に人事貶馴の

関いたします。強いって残りを表出ののの事にしていたします。強いったとなるのみなるを強いの都のではいたします。強いったとなるのみなるを強いの都のではいたします。強いったとなるのみなるを強いの都のではいたします。強いったというないがありた。

母親の人柱

低に常るは親の慶習さ常識によかした後、静かにそれを越してかした後、静かにそれを越していまってがい子供い指導はその既言の称称:培はれて行きます野恋の称称:培はれて行きます。

きつたり、貼を突つばつたて概をきつたり、または物を口に解説 り、食べて後に口の中で 当の間 り、食べて後に口の中で 当の間 り、食べて後に口の中で 当の間

スプーンに山盛へ塩やしへ銀形に一杯を混べし、よくかき趣し に一杯を混べし、よくかき趣し では、はくかき趣し

To the second 庭 6 6 家

米 國 0

儀禮

洋食和食

獻立

△摺り方 △ポンキンスー.

大 生態のところで白粉・鯉色されたし、またことのが一般にあるましいされます。 たんし、またの点はなされずいれたします。 たんし、またの点に強くしてゆきなした。 他性でのようなとした。 として難のが一番によるのが一番によるとしてから、 他にもずいたとかった。 もしたいまいのようなとなった。 もしたいまなど、 はいの話いのも目立ちまないます。 もしたいまなど、 はいの話いのも目立ちまなど、 はいの話いのも目立ちまない。 はいるというない。 もしたいまなど、 はいのきます。

● 大にかまれた時間の観察を検が思らないやう

◎特殊な趣味

た。 本に かけいのでありますが ながら 在性 で おいふ音のみ、 要すいますの で ないふ音のみ、 要するに 居て した かりとなってかります。 故に 居て した なって ないまき からます。 故に となってのでない びが 古性 能力 クライン で ない はず インドング で はん となって かり に なって ない はかり で ない はず インドング で はん となって かり で ない はず インドング で はん となって かり にき と ない まず インドング で はん となって かり で さい で まり の で さい かり で はん となって トンドング にん はん いって かり にん はん いって きゅう しゅう かい はん いって はん い

水傷をしたときはオリア油かまる
か傷では、また蜂薬や大根なうして小
のの・ラが油をぬり、其い上を
がして窓いて置くとよろしい
その修里型を郷金でおうして小
ののものががあるさいはれてる

にして、直で紹小院の事所計算 を受る必要があります。たこへ を受る必要があります。たこへ が安全です ・ でで、一 ででは、 ここへ

⑥火傷の手當

供の 玩具の選び 智能助長の

子供の學業成績の三型

A 事 相談

偉人の 結婚

生

本 (中) の二月三日の夕都、日路の して一割も要れ (中) の二月三日の夕都、日路の して一割も要れ (中) の二月三日の夕都、日路の して一割も要れ (中) の一月 活

心にはけみました。それがもうではないない。 はははかみました。それがもうではは最少にさば正反對な心ででしないます。 では、 私の心をでしないます。 ないれるの心をでしないます。 ないれるの心をでしないます。 では、 私の心をでしないます。 ないれるの心をでしないます。 ないれるの心をでしないます。

・ り に 像です。 いっと は かいのですが、 かいのですいいのですが、 かいのですいいのですが、 かいのですが、 かいのですが、 かいのですが、 か

に年をこつ

供

相

談

を得て獨立したいのでこざ を得て獨立したいのです。その います。とれて相當の職 でございます。それで相當の職 を得る場合したいのです。その を得る場合したいのでござ

東間はそれが腹が立つてなられいので、健康がよっているますが、素で入ってないので、健康がの下に立つてるますが、素で入っているさ、コソートやつて来て姿勢

んで行きます
こんな観で、柿の質が繋する
ではして、木の見張り巻の方が ない低でした。
ならく」、眼前の質が繋する あら日、東門が外から離っるさ、さうでせう大事の村の村の村が根本から切り倒じてあります。先生800まいここかまつかになつて家へ飛込みました。

「誰が切つた。誰が権を切つ たんだ」 なは、すこしる魅がず でもいまし」

こいひました。その言葉の通りこいひました。その言葉の通り

衛 生

鼻汁が出て困 (せい子) 3

智 識 0 泉

を なごか、あるひはあまり汚れたい 空気の場所を選けるやうにでも して、呼吸器を丈夫にしてゆく より仕方がありません、ぜいぜい音のするのは、その地の響節・大人の地の響節・大人の地の響節・大人の地の響節・大人の地の響節・大人の地の響節・大人の地の響節・大人の地の響節・大人の地の響節・大人の地のです ものではないのです

でなけれている。 「お娘がはこれもございます」が切ったわけがございます」 東岡は盆+怒りますが、姿は盆 を続けいて

妻;

一覧あの都の木を何き思つてる。東岡は天びつくりしました?

「そんなここはごうでもい」 「私が切らせました」

*	50 (0.040 C)	1			
A 組 "Class A"	without pointing	B 組 "Class B"	我等 we 平生 usually	E' to warm with steam 后' manufactory	先生『川村さん
讀 み方 READING	所 place がんまで until evening	讀み方 READING	use なれたれば(なれてゐるから)	大'old times 七'to recall	先生 でいねいに言ふのですか
とけいのうた	われら we ねどこ bed	マッチ	思はざれども(思はないが)さ程に(それほどに)	九、to cut into pieces 九、thin board	先生「お待ちましてはいけません
ごけい は あさ から	a(aut) un breath	マツチの如く便利なるものは世に少	此のもの this thing	+1', usually	川村ね
かつちん、かつちん。	いきをもつがずに (いきもつがな	かるべし。我等は平生用ひなれたれ	昔 old times 思公出专 to recall	作文、Composition	先生「それは間違つてはいません
たんなじ ひびき で	ن الله الله الله الله الله الله الله الل	は、さ程に思はされざも、此のもの	驚かるるなり(驚くのである)	次の女を話のやうに直して下さ	が、もつと良い管ひ方があります。 推でも
うごいて 居れざも	17	なかりし昔。思ひ出すこさは、今更	いまだ(まだ)	一、諸子はいまだマッチの製造場	先生 7
ちつこも たんなじ	未 諸 Liansiauon Inco	に其の便利なるに驚かるるなり。	製造場 manufactory	を見たることなかるべし	たせしまして、とか、言ひます
がしまで、これでは、	l' song	諸子はいまだマツチの製造場を見た	なかるべし(ないであろう)	世に少なかるべし	山田「お待たせして失禮しました」となっている。
	iii' clock	るここなかるべも。マツチの製造に	手敷のかいる troublesome	数のかゝるものなり	正中「先生。失禮でざいましたで
	same	は驚くべき手敷のかうるものなり。	木材 wood 切りて(きつて)	人の人手を要するかを知	先生「失禮ございました、では、
ごけい は ばん でも	六、evening		湯気にてむし	五、此のものなかりし昔を思ひ出	田中「失機でございました」
かつちん、かつちん。	₺, bed	100			先生「さうでせう、それなら結構
われらがわざこで	\$	ちく木こし、火にかわかして、頭に	網くきざみ to cut into pieces	13	伊藤「先生。申し上げと言はない
やすんで 居る まも	作文 Composition	楽をつけ、そのかたまるを待ちて、	ちく木 stem board	対	ですか
ちつごも 休まず、	やう にはなして ください		tr dry with the fire	訪 問 VISIT	伊藤「だれか言つたのを聞いたで失生」とこへつけますか
いきをもつがずに、	一、ひとがやすんで居るまも、ち		かたまる to harden	タ4「pardon me for keeping you waitingを伊藤さん	先生「こなん、大麦を申し上げま
あさまで かうして	一、おんなじ ひびきで、うごいて	らず。之を思はで一本の	箱い入る to put them in the box		したと言つたのでせう
かつちん、かつちん。	居れども	の、そまつには使ふべからず	手に入るまでには before we get hold of——	すが、こゝでは、失適いたしま	先生『それは大層丁等な言ひ方で
復 習 (れさらひ) Review	かつちん	復習(れさらひ) Review	手を要す to require trouble	ません、とか	ていねいに言はないでもよろし
一日。 所。 字。 長い。 皆さん。	四、われらが ねどこで やすんで	人通りが多く。 母。 朝飯のしたく。 新聞産み出す。 毎日働いて。 牛乳。 人の職業	要するかを知らず(要するかわか	伊藤『待ちまして、失禮いたしま	お持たせして失魔しました
8 .	五、ちつとも、おんなじ 所をささ	却つて苦しい。	使ふべからず(使つてはならない)	先生「それでは、どちらが待つた	お待たせしまして失寝しました
字 引 Dictionary	つぎの二つはどこがちがふか。	字 引 Dictionary	Into	伊藤「あなたが待ちましてと言ふ	お待た世申してすみません
10	一、とけい は あさ から ばんま	マッチの如く like match	nese	たですか	お待た世申して失機ででざいま
かつちん tick-tack おんなじ same	こ、とけいは あさでも ばんでも	convenient thing	1' to require trouble	外生『あなた、と言はないでも同	お待たせしてすみませんでござ
11	かつちん かつちん	世に in the world 少い rare	ii]' to harden	どうしたらよいでせう	いました

刊

週

(土) 日二廿月九年三和昭 (4)

米 日

號二十八百三萬一第

(土) 日二廿月九年三和昭

(5) 號二十八百三萬一第

Kono yoona haha ni sodaterareta Tokiyori desu kara, shikken ni nattemo yononaka wo osameru koto ga joozu de attanodesu.

四、維新後の外交はどうでしたか

一、維新後の教育はどうでしたか

三、どんな微兵制度を作りました

いろいろの事を學ばせました

質問 Question

ions)多くの人々を外國に送つて

に外頭(foreign countries)とも盛れたで際にし(to have social relat-國内 (domestic) を改良すると共

かれた

(military service) につく事を定

微兵合(the conscription law)

The conscription system

△微兵制度

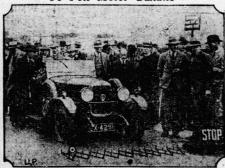
(education)を映画 (encourage)

VOL. II NO. 7

SAN FRANCISCO, CALIF., SATURDAY SEPTEMBER 22, 1928

NUMBER 10382

To Foil Motor Bandits



"G. B. S." And Another Film Star



Legless Flier In Difficulties

Returns from Sojourn in Arctic



Wins Trans-Continent Race



Back Home From the Summer Vacation





FRENCH VIE FOR SPORTS **SUPREMACY**

Paris Becomes Center For International Federations

By GEORGE KIRKSEY
United Press Sports Writer*
HE French have started a campaign to rebel against the supremacy of the United States sports, and they are going about in an odd way.

Prance hopes to gain control of rits, not on the athletic field, but the chamber halls. Some one an idea of forming a sport fedition in several years back and ce that time almost 1,000,000

Rule Tennis World.

n France all this is considered great moral victory for the far-hied policy of the French sports-n who conceived the idea of or-lizing federations to govern all orts.

The French Move the Strings



THEN AND NOW



SIXTY YEARS AGO TODAY

ENJOY YOUR HOME LIFE BY STUDYING THESE USEFUL HINTS BY JUNE DUNHAM

COMPLETE RECIPES FOR A VEGETABLE MEAL

A good recipe for Lyonnaise po-tatoes is the following: Brown two tablespoons of grated onion in two tablespoons of butter; add two cups of cold boiled potatoes which have been diced and cook in the pan until lightly browned.

For tomato and cheese salad use firm ripe tomatoes, peeled and sliced upon a bed of crisp shredded-lettuce. Oream a package of cream cheese and add to it a teaspoonful of chop-ped chives and a teaspoonful of minced green pepper. Make the cheese into small balls and arrange them on the salad plate. Serve with a Russian or 1000 Island dressing.

For dessert we suggest a banana

a Russian or 1000 Island dressing. For dessert we suggest a banana pudding which is a particularly good choice for the vegetarian meal. To a cup of hot milk add a cup of stale bread crumbs and allow the crumbs to soak for half an hour. Add another cup of milk, a half cup of banana pulp and three eggs lightly beaten. Then add a pinch of salt, four tablespoonties of sugar, a teaspoon of vanilla and two teaspoons of lemon juice. Cook as litered and each tier is flared.

IT IS our habit to occasionally give you would a custard in a large pudsome attention to recipes and menus for the meatiess meal, for the benefit of those who recognize the wisdom of at least one vegetable unight a week. And today the attenue of the complet a week. And today the attenue of the complete a week.

Julie Says-



CAT TALES









A LITTLE CHAT ABOUT YOUR FAMILY'S HEALTH AND SOME HINTS FOR THE HOME NURSE

the bleeeding to stop. An injury in which the blood should clot in a few minutes and stop the hemor rhage, keeps on bleeding indefinite

The patient is what is known as a biselect or hemophiliac.

The condition may be discovered quite by accident. A slight injury keeps on bleeding and the family doctor find the abnormal condition of the blood. On the other hand it may be discovered when the blood clotting time is being determined before an operation, or at the periodic examination.

One of the most frequent signs is excessive hemorrhage from the mose. It is also quite common for bleeders to have hemorrhage from other mucous membranes, such as the mouth or bowels. It may occur under the skin after a slight pinch, in which case it leaves a dark mark resembling a bruise. Sometimes the blood escapes into a joint and materially interferes with its function.

The tendency to bleed is herediting the shape of lounging or deck chairs. They have the added

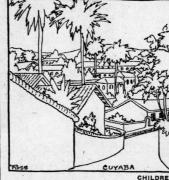
The tendency to bleed is hereditary characteristic and is usually, but not always, transmitted through

OMETIMES when a person re-cieves a slight cut, has a tooth pulled, or has some slight op-eration, there is difficulty in getting the disease to the male children.

Patients who are bleeders are usually young, the reason being that the condition is remedied or the paly and at times really endangers the condition is remedied or the pa-life. There is no reason for this in so far as the wound is concerned. The patient is what is known as a bleeder or hemophiliac. monly than brunettes, but occurs in all races, colors and climates.

Children always like to have their possessions as much as possible like those of adults. New diminutive chairs are made of wood and striped canvas in the shape of lounging or deck chairs. They have the added advantage of a small awining to protect tiny heads from the sun.

VISITING THE WORLD CHILDREN





It was raining, raining hard in Matto Grosso.
Mother, father, Maruca and Tono had ridden to
the city of Cuyaba (kooya-ba). They did not
know it was going to rain. But the rain did not
bother that family. Will be to think father
said? He said, "Run! Look in sand of the
street, my Maruca and Tono. See if the rain has
washed gold down from the hills!"

Julliettes







The ROMANCE of JAPAN

Through the Ages

JAMES A. B. SCHERER

An Interpretative Outline of the Story of Japan from the Intro-duction of Buddhism in 552 A. D. to the Passage of the Manhood Suf-frage Act in 1925.

Iyemitsu succeeded his father Hidetada in 1623, to become the best journey ever accomplished between Yedo and Nagasaki under the old known of all the Tokugawa Shoguns except his illustrious grandfather, Tegime," two commissioners from the Shogun's court came down accompanied by a squad of executioners. Nikko. Iyemitsu carried proceedings against foreigners and Christians Nikko. Tyemitsu carried proceedings against foreigners and clinicalities to their uttermost extreme. He signalized the year of his accession by the execution of some 500 Christians, while the following year, 1824, is of Jamous in history for the promulgation of his great edict of isolation, which was to continue in force for 230 years as the outstanding feature of the entire Tokugawa regime. During the 22 years of his rule 19emitsu persecuted a quarter of a million Christians for their faith, which at last he succeeded in exterminating.

The great struggle culminated in 1638 in the Shimbara Rebellion The great struggle culminated in 1638 in the Shimbara Rebellion, which Japanese writers commonly regard as an example of thwarted Occidental aggression against the political integrity of their country. They regard this rebellion as even more menacing than the thirteenth-century invasions of Kubiai Khan had been, since it was an assault against the Japanese State delivered from within, headed by Christian Samural in command of 20,000 troops, accompanied by some 13,000 women and children.

The Shimabara Penninsula, which lies directly east of Nagasaki, had shared honors with the neighboring island of Amakusa as the most fertile of all fields of Catholic missions. Consequently Iyemitsu's prolonged persecutions were felt there with peculiar severity. But the Christians might never have resorted to actual revolt except for unen-

On arrival of the ship at Nagasaki, the four "ambassadors" and all vere immediately seized and imprisoned on the islet of Deshima, while

not save them; that they could not be regarded as ambassadors; that "the whole embassy is nothing but a pure lie;" and that they were automatically sentenced to death.

When the interpreter ceased reading their sentence of doom, there was a deep and solemn silence throughout the crowded hall of audie At last at a sign from one of the commissioners, the executioners they At last at a sign from one of the commissioners, the executioners they had brought with them from Yedo threw themselves upon the envoys, seized them and bound them as ordinary Japanese criminals were bound, and hurried them off to prison with halberts resting on their necks. Early next morning they were offreed their lives if they would renounce Christianity, but every one rejected the offer. At 7 o'clock they left the prison for the Martyrs' Mount, the scene of so many tragedies, and there the heads of the envoys and of 57 of their companions fell (August 3rd, 1640). The thirteen selected to carry the news Christians might never have resorted to actual revolt except for unendurable taxes that were levied upon them.

This burdensome taxation was the immediate occasion of their massing together as one body, and seizing an abandoned stronghold on the eastern coast of the peninsula, a stronghold consisting of a dilapidate castle perched on the steep plateau, overlooking the sea on three sides, and approachable by land only through bogs.

Here the assembled Christians were besieged from January until April, 1638, their battle-cries being "Jesus," "Maria" and "St. Iago," and their ensign a fiery cross.

On their running short of both food and ammunition, all but a hundred of these \$3,000 Christians were put to death with the utmost ingenious and spectacular crueity.

Although this tremendous massacre resulted in the practical extermination of the native Christians, the Portuguese at Macao were not minded to let go the grip they had held for such a long time on Japanese trade. It was mainly to the rich profits of this trade that Macao owed its magnificence. Therefore, in spite of the Shimabara massacre four of the most respected citizens of Macao were presently despatched to Nagasaki in a ship laden with rich gifts for the Shogun, while public prayers were said in their behalf by the entire city, and "the Holy Sacrament was exposed in all the churches of Macao.

On arrival of the ship at Nagasaki, the four "ambassadors" and all were immediately seized and imprisoned on the labet of Desbine, while were formed to the Governor's palace and were formally asked by him to witness the burning of the vessel, and on the following day they were summoned to the Governor's palace and were formally asked by him to witness the burning of the vessel, and on the following day they were summoned to the Governor's palace and were formally asked by him to witness the burning of the vessel, and on the following day they were summoned to the Governor's palace and were formally asked by him to their submediation of the case which the their e